さくらやまなみバスで行く やすらぎの奥西宮・山口町ぶらあるき

山口エリア

山口周遊コース(約7.5km)　名来神社コース　公智神社コース
金仙寺コース　有馬川緑道コース　丸山稲荷コース

0　100　200　300　400　500m　N

保護樹木
凡例：樹木種（樹高/幹周）

西宮市内の市街地又はその周辺に所在する樹木で、美観風致を維持するため保全することが必要な樹木を指定対象としており、現在、公智神社のクロマツなど135本23樹種を指定。
そのうち山口町には24本13樹種があります。

1 名来（ならい）神社

名来神社は火と水の神さまの二つの神社の総称です。「火の神さま」愛宕社は軻遇突智命（かぐつちのみこと）を祀り、「水の神さま」水神社は罔象女命（みつはのめのみこと）をお祀りしています。

・バス停「名来」下車

2 光明（こうみょう）寺

阿弥陀如来を本尊とする浄土宗の寺。新有馬郡西国三十三ヶ所霊場の第十三番札所に名を連ねています。

・バス停「下山口」下車
・バス停「山口センター前」下車

3 有馬口駅跡

有馬口駅は、かつてJR三田駅から有馬温泉までを結んでいた鉄道の駅で、1943年に廃止されましたが穀類や特産の竹籠、寒天を運ぶのに役立っていました。駅は光明寺の東側にありましたが、今ではほとんど遺構は残っていません。すぐ近くの「駅前橋」にその名残を残すのみです。

・バス停「下山口」下車
・バス停「山口センター前」下車

4 公智（こうち）神社

平安時代の「延喜式」にも出てくる公智神社は代々山口の氏神。木材の神といわれる久々能智（くくのち）の神が祭られています。1000年ほど前には今の北六甲台にあった向山（お天上山）にあったと伝えられています。また、社殿の背後に広がる森も市指定天然記念物となっています。

・バス停「下山口」下車
・バス停「山口センター前」下車

5 御旅所

敷地には「御旅所」「孝徳天皇行在所址」「旌忠」と刻まれた３基の石碑が建っています。山口村誌によると、大化３年（647年）に有馬温泉に行幸された第36代・孝徳帝の行幸の跡地とされ、孝徳帝を奉祀した奉賛堂の跡地が、後に御旅所となったようです。毎年10月の秋祭りには、公智神社の御神輿がここまで巡幸し祭礼が執り行われます。

・バス停「下山口」下車
・バス停「山口センター前」下車

6 銭塚地蔵

伝承では、山口某の妻は賢婦で、暮らしは貧しかったが家を治める事も子の教育も厳しかった。ある時、垣根の修繕で穴を掘ったところ、多くの銭が出てきたが、婦人は「武士たる者、いわれのない財を得ることはできない、銭は埋めなさい」と厳命。のちその二人の子供は立身出世してその銭を埋めた塚の上に地蔵尊を建立して母の戒めとして供養したそうです。

・バス停「下山口」下車

7 山口町郷土資料館（山口町徳風会館内）

美しい自然と風土を持つ山口町の文化を伝えるために創設。中世以前から現在までの山口町に関する数多くの資料を保存展示。山口町の代表的な産業であった寒天、竹かご、和紙の技法などを紹介しています。

・バス停「上口センター前」下車

8 明徳（みょうとく）寺

浄土真宗大谷派の寺。江戸時代初期の火災で文書焼失のため、建立年などは不詳。本尊の阿弥陀如来立像はヒノキの寄木造で鎌倉時代後半の作とされ、国指定重要文化財となっています。この立像は快慶作と伝えられ、近くにあった永蓮寺の焼失で明徳寺に移されたといわれています。

・バス停「上山口」下車
・バス停「山口センター前」下車

9 城ノ垣内（しろのかいち）稲荷神社

いつ頃から祀り始めたのかは不明ですが、上山口地区の守り神として大切に祀られています。鎮座地字名の「城ノ垣内」から、城ノ垣内稲荷と呼ぶようになったと言われています。

・バス停「金仙寺口」下車

10 丸山と金仙寺湖

丸山は春にはコバノミツバツツジでピンクに染まり、秋には紅葉のグラデーションに包まれます。金仙寺湖は昭和52年（1977年）に完成したダム湖で西宮市北部の水がめの役割を果たしています。

・バス停「金仙寺」下車

11 金仙寺観音堂

昔は尼僧がおられましたが現在は無人のお堂です。近隣の住人の方々がお守りされています。この横からの丸山への登山道が、いちばん緩やかに登れます。

・バス停「金仙寺」下車

12 丸山稲荷神社（本社）

その昔、多田源氏の山口氏が丸山山頂に城を構え、その鎮守として祀られたのが初めといわれています。その後、豊年満作・地域産業発展の守護神として、あがめられるようになりました。

・バス停「丸山下」下車

13 丸山稲荷神社（奥社）

稲荷神社（奥社）がある山頂には、かつては丸山城（山口城）がありました。城主は山口五郎左衛門時角で、戦国時代末期（天文～永禄）に3000石を領し、山口村を中心に勢力を有していましたが、天正年間の戦で落城したと伝わっています。

・バス停「金仙寺」下車、金仙寺観音堂から登山道

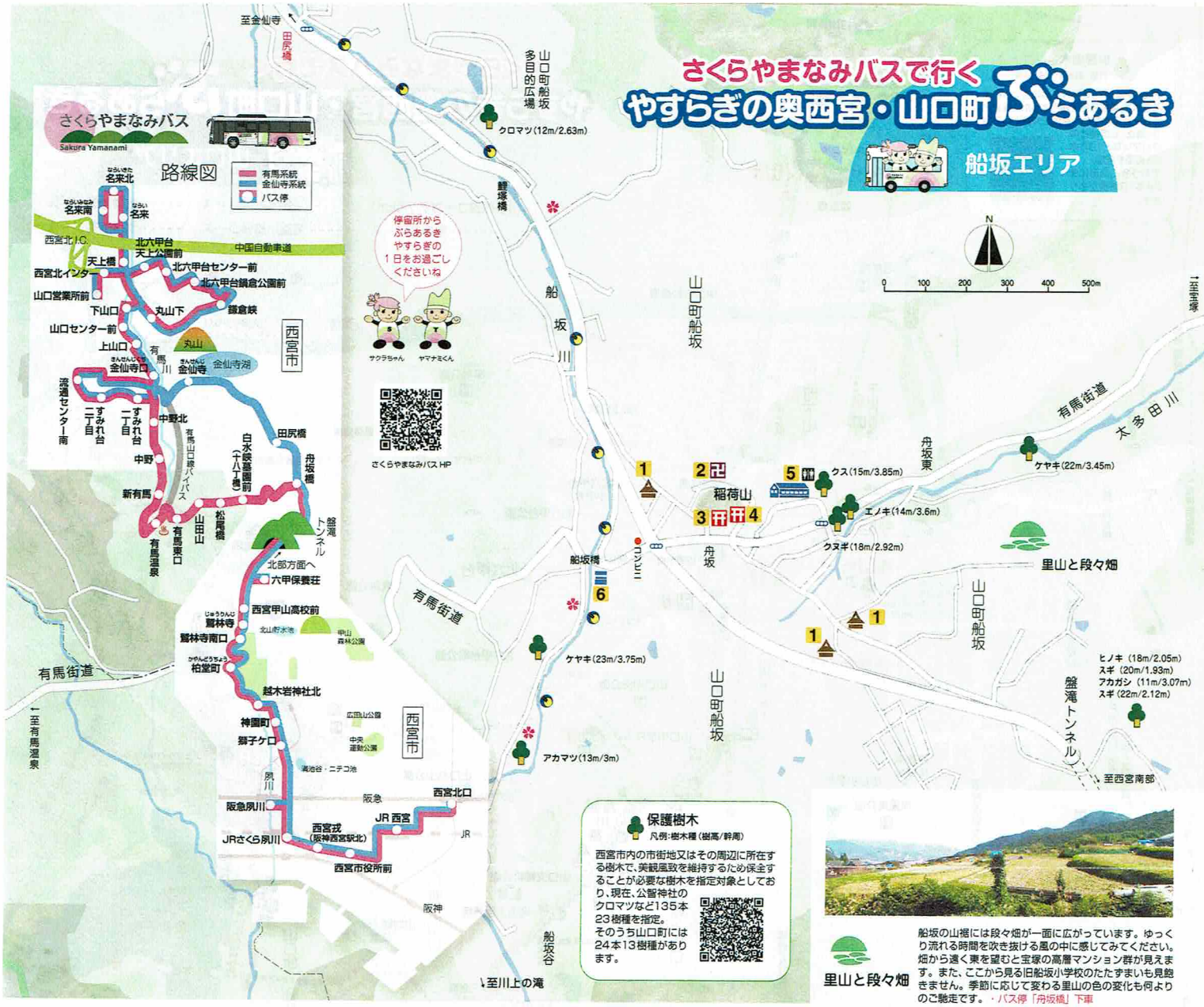
14 有馬川緑道

十王堂橋から新明治橋まで約1.3kmの有馬川沿いの遊歩道。春には桜が満開となり、地域の人たちの手作りの桜まつりで賑わいます。また、地域の人たちの力で、ホタルが復活し、初夏にはホタルが飛び交います。

・バス停「金仙寺口」「上山口」「山口センター前」「下山口」下車

さくらやまなみバスで行く やすらぎの奥西宮・山口町ぶらあるき

船坂エリア



保護樹木

凡例:樹木種(樹高/幹周)

西宮市内の市街地又はその周辺に所在する樹木で、美観風致を維持するため保全することが必要な樹木を指定対象としており、現在、公智神社のクロマツなど135本23樹種を指定。
そのうち山口町には24本13樹種があります。

里山と段々畑

船坂の山裾には段々畑が一面に広がっています。ゆっくり流れる時間を吹き抜ける風の中に感じてみてください。畑から遠く東を望むと宝塚の高層マンション群が見えます。また、ここから見る旧船坂小学校のたたずまいも見飽きません。季節に応じて変わる里山の色の変化も何よりのご馳走です。・バス停「舟坂橋」下車

1 かやぶき屋根

船坂は都会から最も近い里山と言われています。古民家もたくさん現存し、今では珍しい茅葺きも4棟残ってます。このうち3棟を、武庫川女子大の学生と有志による「古民家族」という団体が伝統的な工法を学ぶ場として、ボランティアで修復・保存活動を行なっています。もう1棟は古民家カフェとなっています。
・バス停「舟坂橋」下車

2 善照寺

寛正2年(1461年)、釈善想によって開基したと伝えられます。はじめは浄土宗でしたが室町時代、本願寺八世蓮如上人来錫のおり、上人に帰依する者が多く真宗になったと伝えられています。本尊阿弥陀如来は、別名、浮足如来さんとして広く親しまれています。
・バス停「舟坂橋」下車

3 舟坂山王神社

伝承によると、船坂川上流にある巨岩に、六甲山の石の宝殿より、大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)、猿田彦命(さるたひこのみこと)の3神が降臨し、鎮座しておられるのをここに招いたともいわれています。当神社は、天正年間(1578年頃)、別所長治の祈願所であったため織田信長軍の兵火にあい、社殿などことごとく焼失したとも伝えられています。
・バス停「舟坂橋」下車

4 国玉稲荷神社

明治34年(1901年)に農耕、殖産興業の神である稲荷大神(国玉大明神)を伏見稲荷大社より勧請し、現在地で奉祀されました。神殿は瓦葺きでしたが、阪神大震災により破損したため修復。その際、銅板葺きになり、同時に参道の鳥居も新しくなりました。
・バス停「舟坂橋」下車

5 船坂里山学校(旧船坂小学校)

明治6年に善照寺の本堂を仮校舎にして開校した歴史ある学校でしたが、2010年3月末に閉校し137年の歴史を閉じました。大正13年に建てられて最後にランチルームとして使われていた建物や校舎は現在は西宮市立船坂里山学校となっていて、地域住民が集い、船坂を訪れる人と住民との交流を生み出す地域の活動拠点として活用されています。
・バス停「舟坂橋」下車

6 直売所

舟坂橋バス停から、さくらやまなみバスの走る道沿いは昔、寒天の産地だった頃の寒天干し場がありました。きっと六甲山からの冷たい風が川に沿って吹き抜けたのでしょう。また、舟坂橋バス停横にはその日にとれた有機野菜や花などの無人直売所もあります。
・バス停「舟坂橋」下車

やまぐち歳時記

とんど

1月第2日曜日 午前7時～9時頃
場所:上山口の2箇所・名来・船坂地元の田んぼにて

前日の朝から地元の有志によりとんどを組み立てます。とんどの根元には恵方の方角に点火用の入り口(穴)が作られます。当日は、年男が点火します。火の粉が早朝の冬の空に舞い上る様子は迫力満点。竹の先端に書初めを刺し炎にかざして空に舞い上げると子供が上手に字が書けるようになるとの言い伝えにならって書初めをかざす親子・竹筒のとっくりでお神酒の燗をする人、その年の健康を祈りながら大きな炎を取り囲みひと時を過ごします。

さくら祭り

4月第1土曜日 午前11時半～午後3時
場所:有馬川沿緑道公園 山口中学校西側付近

フリーマーケットや模擬店、地元中学生のパフォーマンスなどで賑わいを見せます。年を重ねる毎に出店するひとも訪れるひとも増えて、今では桜の季節にはなくてはならない催しとなっています。

ほたるウォークラリー

6月第1または第2土曜日
場所:有馬川沿い、午後7時半～
田植えが終わりかける頃から有馬川では蛍が飛び始めます。今では還方から訪れる人も多くみられます。飛び交う蛍がピークを迎えるのを見ながらウォークラリーの日は決められます。

地蔵盆

8月24日 午後6時～8時頃
場所:銭塚地蔵

銭塚地蔵尊にとって最も大きな行事で、子どもたちによる珍しい「詠歌おどり」が奉納されます。お化粧をし、着物を着た女の子による詠歌踊りはみものです。

盆踊り

8月上～下旬午後8時～10時頃
場所:山口地域各地区
自治会や地元有志を中心に屋台も出店され賑やかな夜になります。山口町伝統の「袖下踊り」による盆踊りは午後8時から10時頃まで続けられます。

八朔大祭

9月第2日曜日午後1時～3時頃
場所:丸山稲荷神社
五穀豊穣を祈願する丸山稲荷神社の八朔大祭。餅まきや恒例のこども相撲大会が盛大に執り行われます。

公智神社 秋祭り

10月(体育の日の前日の日曜日)
場所:各地区～公智神社
上山口(大小だんじり)、下山口(大小だんじり)、中野、金仙寺のだんじり、名来のかきだんじりが午後2時前後にお旅所に集合します。神社を出発した神輿もお旅所に到着して神事を行った後、神輿を先頭に各地区のだんじりがお旅所を出発し、宮前通りを神社に向かって進んで行きます。そしていよいよ祭り最大の見もの、宮入が始まります。(午後3時前後の約30分)各地区のだんじりは、力を蓄えて大鳥居から境内までの坂道を一気に駆け上がります。宮入後は、名来(古文化保存会神楽部会)による獅子舞が奉納されます(4時過ぎまで)。

船坂マルシェ & ふれあい広場

11月中旬の日曜日午前10時～
場所:船坂里山学校
"収穫祭"として、年々賑わいが大きくなっています。地元産にこだわった野菜やジャムなどの加工食品の直売、模擬店、そば打ちやコンサートなど、たくさんの出し物で楽しいひと時を過ごすことができます。

西宮山口アルキナーレ

11月下旬
場所:山口センター・山口町一帯
西宮山口の魅力をたくさんの人たちに知っていただき、来訪者とのふれあいを通じて地域の活性化を図ることを目的に2012年から開催しています。ウォーキング・飲食屋台・抽選会・ステージイベントなど多彩な催しで楽しんでいただいています。

詳しくは西宮山口HPで

※各イベントの開催日は変更の可能性があります。あらかじめHP等でご確認ください。

さくらやまなみバス利用促進協議会 2021.2作成